

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

小菅ヶ谷地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

【現状】

地域包括支援センター及び生活支援体制整備事業の担当エリアは、小菅ヶ谷連合町内会自治会の全エリア（地域活動交流担当地域と合致）、本郷中央連合町内会自治会の一部地域（桂町）（地域活動交流担当地域は桂台ケアプラザ）、本郷第三連合町内会の一部地域（鍛冶ヶ谷町・柏陽）（地域活動交流担当地域は中野ケアプラザ）です。町別にみると、鍛冶ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目、小山台、柏陽は高齢化率が栄区平均（29.3%）を上回っています。

最も高齢化率の高い小山台は少子高齢化が深刻になっていますが、共助意識が高く、高齢者を対象としたサロンやカフェ・町内活動が活発です。高い高齢化率に反して元気な高齢者が多いと考えられる反面、担い手不足から地域活動の継続に課題を抱えています。

駅前に位置する小菅ヶ谷一丁目には築 40 年以上の公団や市営住宅等の団地が多く、徒歩圏内に商店・病院があることから高齢者の転入が進んでいます。同時に小菅ヶ谷二丁目～四丁目の比較的新しいマンション群には子育て世代が転入しています。他区・他市町村から転入した子育て世代に期待するとともに、地域に馴染むような子育て支援が必要です。

介護予防事業の問合せと共に、認知症、家族の介護力不足の相談が増加しています。家族だけでは支えきれず、医療、介護サービスや地域を巻き込んでの地域包括ケアシステム作りが急がれています。

【課題】

担当地域では、今後後期高齢者の増加に伴い、介護相談も増加すると考えられます。平成 29 年～30 年には高齢者数が 6,000 人を超えると予想されます。

坂道と戸建の多い小山台、小山台と隣接している小菅ヶ谷三丁目、鍛冶ヶ谷町、柏陽では、公共交通機関がバスルートのみで、商業施設がなく、外出の機会が制限され、高齢者が閉じこもる恐れがあります。閉じこもりは、やがて高確率で認知症の発症につながるため、元気なうちから継続した社会参加の機会が必要です。

駅前の団地は、独居高齢者が増加し住民独自の見守り活動が必要です。住民による互助、共助が重要とわかっているのですが、担い手不足が大きな課題となっています。若い世代にも、ダブルケア世帯や貧困世帯の増加があり支援が必要です。

成人の引きこもりが珍しくないことも課題です。精神疾患を抱える方の相談も多くあり、併設されている栄区生活支援センターをはじめ、関係機関・関係団体との連携がより必要になっています。

在宅での療養、お看取りの相談も増加しており、住民自身が自宅で終末期を迎える意識改革や、在宅療養の理解を深める必要があります。

(2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

（ア）個別訪問時、自主事業・出前講座などで、ケアプラザの説明やチラシ配布を行いました。皆さまに愛されている小菅ヶ谷地域ケアプラザキャラクター「こすがや6」を広報活動に活用しました。

（イ）相談内容によって、所内の委託部門で共有し対応にあたりました。（例）要支援の方をインフォーマルサービスにつなぐため、生活支援コーディネーターと関わりをもってもらいました。また、他機関と日ごろから連携・相談がしやすいように、共催事業を実施しました。（例）うったちゃお、保育士さんと遊ぼう、成年後見講座、健康セミナーなど

（ウ）生活支援コーディネーターを中心に地域情報の収集を行い、更にそこで直接相談などを受けニーズ把握にも努めました。

（エ）様々な会議などでケアプラザの周知を行い、出前講座・出張相談に繋げました。

(3) 各事業の連携

（ア）個別相談から、公的制度での対応だけでなくインフォーマルサービスや事業につなぎ、包括職員だけでなく、コーディネーターに関わりを持ってもらいました。

（イ）所長を含めての6職種会議、5職種会議を毎月1回必ず開催し、各職種の状況報告・地域状況の共有を行いました。その中で、サロン立ち上げや個別相談の方とボランティアを繋げることができました。（例）ベルジュの集い、男性囲碁の会。

（ウ）地域のサロンや町内会のボランティア活動、地域のお祭りに参加し、地域情報を収集し、関係性を築きました。また、四半期ごとに区役所と区社会福祉協議会とともに地域情報共有を行いました。

（エ）地域ケア会議（個別2回、包括2回）実施しました。個別ケア会議にコーディネーターも出席したことにより、ボランティア活動・地域活動につながる事ができました。また、郵便局と民生委員との連携会議やケアマネジャーと民生委員との交流会などを企画し、課題解決に努めました。

（オ）生活支援コーディネーターと連携し、介護予防事業として、今年度は市営第2住宅シニアクラブからの依頼で介護予防サロン立ち上げの支援を行いました。6職種全員が認知症キャラバンメイトであり、サービス事業所向け、地域向けなど様々な認知症サポーター養成講座を実施しました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- (ア) キャリアパスを明確にし、介護の資格取得に意欲を持ち、ケアマネジャー（1名）の資格取得につながりました。初任者研修（2名）、実務者研修（2名）、認知症介護実践者研修（1名）が受講しました。
- (イ) 法人及び小菅ヶ谷地域ケアプラザの年間研修計画に基づき、職員の資質向上を図りました。更に、外部研修にも参加し新しい知識やスキルを学び、他と交流しながら学び成長する機会を設けました。各部門においてのOJT、スキルアップ研修、通所部門においては研修期間を設け、介護職としてスキルアップを図る独自の研修システムを実施しました。
- (ウ) 職場内スーパービジョン体制を作り、働きやすい環境を整えました。また、職員が心身に不調を来たすことがないように所内で腰痛予防（年1回）とメンタルヘルス研修（年1回）を行いました。また毎月1回産業医との面接機会を設け、随時相談対応を行いました。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- (ア) 小菅ヶ谷つながるプラン町内会自治会訪問、関連団体イベントに参加し顔の見える関係作り、地域の課題の共有、ネットワーク構築、社会資源の把握を行いました。
- (イ) 地域の商店街、郵便局、NPO団体、大学を訪問し、関係作りを進めました。そこで地域の現状や地域課題について話し合う機会を得ました。また、地域貢献を望む地元企業と連絡を取りました。（ヤクルト、駅前スズラン商店街、おとぎばなし商店街、鎌倉女子大、柏陽高校、岩瀬造園）
- (ウ) 個別レベル地域ケア会議を2回、包括レベルを2回開催しました。個別レベルでは、地域住民や民生委員に参加してもらうことで、見守り機能や介護保険サービから地域活動に繋げることが出来ました。
- (エ) 自治会町内会、各関係団体への出前講座を開催しました。開催内容については、それぞれの希望を組み入れながら開催をしました。
- (オ) 小菅ヶ谷つながるプラン（地域福祉保健計画地区別計画）の周知と第3期計画を推進するため、町内会自治会へ訪問し、テーマごとに課題整理をしました。また、町内会自治会訪問情報交換会にて小菅ヶ谷つながるプランと自治会町内会が協力できる関係作りを進めました。

(6) 区行政との協働

- (ア) 区役所・区社会福祉協議会と密に連携し、今年度は町内会自治会訪問6ヶ所、小菅ヶ谷プランニュース第4号の発行、町内会訪問情報交換会、災害時におけるトイレ対策研修を協働して進めました。
- (イ) 区役所・区社会福祉協議会と密に連携し、第3期計画の推進のため、打ち合わせから今年度どのような活動が必要か事務局内で検討を重ねました。地域課題抽出のため、町内会、自治会訪問を年6回行い、地域住民との交流を深めながら、計画の周知と、ニーズや社会資源の把握に努めました。
- (ウ) 包括カンファレンスを毎月開催し、個別の課題解決や情報共有を行いました。訪問型Cの活用についても話し合い、今年度サービスに繋がりました。また、年4回(4月、7月、10月、1月)地域アセスメントを行い地域情報と課題を共有しました。
- (エ) 年4回開催した地域ケア会議の中で、地域の課題抽出に向けての包括レベル会議を開催しました。今後、抽出された課題を基に地域エリアの課題解決に繋げていきます。
- (オ) 地域サロン訪問では、セーフコミュニティのパンフレットを使いながら、周知を図りました。また、今年度のテーマである転倒予防・ヒートショックの周知を行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- (ア) 昨年度好評だった父親向けの子育て講座が今年度も非常に好評でした。にこりんくと共催し、新たに「パパと一緒に遊ぼう」を企画しました。
- (イ) 貸室利用状況から、青少年のケアプラザの利用が少ないことが分かりました。新たに「父の日に向けてクッキーを送ろう」を企画開催したところ、定員を遥かに超える応募がありました。第2弾で「つくってみよう、どうぶつのパンケーキ」を2月に開催しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- (ア) デイサービスへのボランティア紹介、「びかびか大作戦」、「書初め」のボランティア講師依頼、シフォンの会にクッキー教室、パンケーキ教室ボランティアを依頼し、活動の場を提供しました。
- (イ) 世代交流サロン「ひだまり」の毎月開催、「いたちまつり(施設祭り)」等の保健福祉活動団体等の活動披露の場を提供し、ケアプラザについて広く地域の方へ活動を知っていただく機会を設けました。
- (ウ) 本郷台小学校の4年生が作った高齢者向けの体操をデイサービスで披露してもらいました。また、デイサービスの職員から小学生に向けて高齢者の特性についてお話しし、お互いの理解を深めることが出来るように働きかけました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- (ア) 配食団体の「シフォンの会」には自主事業のお手伝い、書道団体「華の会」にはデイサービスのお客様へ指導を頂きました。ボランティア講座を企画開催したところ、参加者全員がボランティア登録をし、デイサービスでの活動に繋がりました。
- (イ) 日頃からお世話になっているボランティアを招き「ボランティア交流会」を2月に開催しました。お互いの活動紹介で交流を深め、情報交換、提供を行いました。
- (ウ) 介護予防普及強化事業開催後の「若葉会体操クラブ」「ハマレジいきいき体操」について、自主化を目指して継続的な運営支援を行いました。地域包括支援センターと協働して「コスモスサロン」の立ち上げ支援を行いました。
- (エ) 自主事業の「ミシンボランティア」では今後、自立化につながるよう平成31年度のいたち祭りにて作品を販売できるよう作品作りを始めました。
- (オ) よこはまシニアボランティアポイント研修会を2回開催しました。少人数のボランティアグループ向けにも開催し、参加者のモチベーションアップに繋がりました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- (ア) 「ボランティア交流会」では、お互いの活動を知り、福祉保健活動についての情報提供をしました。
- (イ) 地域活動サロン訪問時にて、参加者や担い手へよこはまシニアボランティアポイントやよこはまウォーキングポイントなどの情報提供を行いました。
- (ウ) 小菅ヶ谷つながるプラン委員と一緒に町内会訪問を行い、地域活動に役立つ情報提供をしました。(ボランティア活動紹介等)
- (エ) 地域版広報紙「小菅ヶ谷地域ケアプラザだより」を(年4回)発行しました。ケアプラザ事業の周知「事業予定カレンダー」を掲載し、開催事業がすぐに分かるようにしました。個別に事業チラシも作成し地域に回覧しました。また、地域の掲示板に貼った際、見やすくするために月ごとに、掲示板用の自主事業の案内版を新たに作成し、配布しました。
- (オ) 地域ケアプラザ周知のため、ホームページ、ブログ「小菅ヶ谷ケアプラザ 『徒然なるままに・・・』」で、事業の様子やボランティア活動等を伝え、地域ケアプラザに興味を持ってもらえるようにしました。
- (カ) 「広報よこはま栄区版」に毎月事業を掲載し、周知しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- (ア) 地域包括支援センターと協働し、介護予防と社会参加につながる事業として「健康ウォーク教室」を行いました。また、「市営第2住宅コスモスサロン」の立ち上げを支援し、「若葉会体操クラブ」や「ハマレジいきいき体操」の継続支援を行い、地域特性に合った方法で自主化を促進しました。
- (イ) 「植栽ボランティア」、「ミシンボランティア」、「ちょっきんカットボランティア」

などの活動を継続支援し、新規参加者を募って活動の幅を広げました。高齢者が地域とのつながり感や、やりがいをもって参加できる場所となるよう支援しました。

(ウ) 参加者が生活支援に関わるボランティアとして活動を展開できるよう、四半期ごとのアセスメントを元に「ボランティア講座」の開催やサロン活動の支援を行いました。また、地域の共通課題を元に6ヶアプラザと社会福祉協議会との協働で「サードエイジラボ」を連続開催し、参加者への継続支援をしました。

(エ) 地域のニーズを元に、地域包括支援センターや地域活動交流と協働して、シニアクラブや地域サロン向け出前講座を実施し、参加者や団体とのつながりを深めました。出前講座では「セーフコミュニティさかえ」のパンフレットを積極的に活用し、転倒やヒートショックの予防に努めました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

(ア) ケアマネジャー勉強会等に参加し、生活支援コーディネーターとの連携を依頼し、ニーズや社会資源の把握とアセスメントに努めました。自主事業、出前講座、サロン参加、町内会自治会訪問などからも地域の声を聞き、最新の情報を収集し、サービスリストの更新に反映させました。

(イ) つながるプラン企画会議や町内会自治会訪問に参加し、顔の見える関係づくりを進めました。懇談の中で社会資源と地域情報の把握に努め、地域アセスメントに繋げました。

(ウ) 民生委員との交流会、地区社会福祉協議会の行事、広報部会での商店街関係者との懇談、本郷台駅前まつりへの支援を通して、関係づくりと地域情報の把握に努めました。また、NPOや民間会社等の地域の関係者と積極的に連絡をとりました。

(エ) 生活支援コーディネーター連絡会議やコーディネーター研修会にて、区高齢・障害支援課や区社会福祉協議会と積極的に情報交換を行いました。また、四半期ごとの包括カンファレンスにて地域の実態把握と課題の共有に努めました。

(オ) 5職種会議、6職種会議、包括カンファレンス等を通じて各専門職と情報交換し、地域特性を把握しました。また、ケアマネジャー向けの広報を強化し、地域課題となる相談を受け、受け皿となる活動を紹介しました。ケースの蓄積を課題分析に繋げました。

(3) 連携・協議の場

(ア) 地域包括支援センター、地域活動交流と協力・連携し、出前講座やサロン訪問などを積極的に行いました。また、つながるプランの企画委員会や広報部会にて関係づくりを進めました。

(イ) 5職種会議、6職種会議を毎月開催し、多職種で協力して地域ケア会議や協議体実施のための検討を行いました。情報交換、課題の共有だけでなく、支援方法の検討を行いました。

(ウ) 地域ケア会議やケアマネ勉強会、民生委員交流会、町内会自治会訪問などを通して医療機関、ケアマネジャー、民間団体などの多職種やボランティア団体とのネットワークの構築に努めました。

(エ) 地域ケア会議に参加し、地域包括支援センター、ケアマネジャー、区社会福祉協議会、民生児童委員、地域の関係団体と共に自立支援や見守り支援に繋がる連携の場を持ちました。会議後も協議の場につながる支援を行いました。

(オ) 地域の福祉保健に関わる方々と協働しながら「小菅ヶ谷つながるプラン（地域福祉保健計画地区別計画）」の4つのテーマ「地域の中でつながろう」「地域で子育てを応援しよう」「健やかな心と体を育てよう」「災害時に備えた平常時からの要援護者支援に取り組もう」について話し合いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

(ア) 「サービスリスト」を更新し、インフォーマルサービスや地域情報を広い範囲で活用できるよう努めました。区内6ケアプラザや社会福祉協議会と協力し、情報を必要とするケアマネジャーにエリアを越えた情報を提供することができました。

(イ) コーディネーター連絡会にて、区域、市域の地域課題を共有し、解決に向け「サードエイジラボ」を開催しました。開催後も広域の地域課題解決に向けての検討を進めました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

(ア) サロン訪問・出前講座を年22回行い、ケアプラザの周知や関係づくりを行いました。また、エリア内の医療機関やボランティア団体に自主事業の講師を依頼するなどして、関係づくりを図りました。

(イ) 3つの異なる会議を開催しました。民生委員と郵便局との地域ケア会議を開催。民生委員、ケアマネジャー、インフォーマルサービス機関との交流会を開催。医師、医療機関、区、社会福祉協議会、地域住民、ボランティア団体、ケアマネジャー、サービス事業所、警察との地域の課題を話し合う包括レベル地域ケア会議を開催。薬剤師、ケアマネジャーとの医療連携会議を開催しました。また、各種関係機関の会議に出席し、個別のケース対応から連携を図ることにより、高齢者の個別ニーズや地域ニーズの把握に努めました。

② 実態把握

(ア) 自主事業のアンケート集計やサロン訪問から住民の声を集計し課題分析しました。

(イ) 四半期ごとに区役所、社会福祉協議会、コーディネーターと共に事業のアンケート、サロン訪問の声、ポータルサイト、町内会資料等の統計資料から地域の課題分析を行いました。

(ウ) 民生委員の定例会や連合の会議などに参加し地域情報の把握を行いました。また、地域ケア会議等に参加してもらうことで、お互いに新たに課題共有をするこ

とができました。また、各種関係機関の会議に出席し、個別のケース対応から連携を図ることにより、高齢者の個別ニーズや、地域ニーズの把握に努めました。

③ 総合相談支援

- (ア) 出張相談会を自治会や薬局と連携しながら4回実施しました。認知症の方の介護保険の申請や、出前講座やサロン立上げ事業につなぐことができました。
- (イ) 要支援者や元気な高齢者からの相談は、コーディネーターとも情報共有を行い、インフォーマルサービスや地域資源、ボランティア活動につなげるように支援を行いました。
- (ウ) 自主事業を関係機関と共催で行い、各団体の事業や会議に参加し、地域包括支援センターの周知し、顔の見える関係づくりを行いました。ケアマネジャーや個別相談の方を関係機関につなぎました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- (ア) 成年後見講座を基幹相談支援センターと他ケアプラザと共催にて実施しました。権利擁護事業として、高齢期の性的マイノリティーの方への支援の講座を実施しました。また、自治会と共催にて相続遺言講座を実施しました。
- (イ) 他地域包括支援センターと共催にて権利擁護個別相談会を実施しました。また、成年後見講座やみんなの勉強会にて、講座終了後に個別相談の時間を設けました。
- (ウ) 消費者被害防止のために、栄警察より自主事業参加者へ啓発講話を依頼しました。また、神奈川県警が作成しているチラシを使い、啓発を行いました。

② 高齢者虐待への対応

- (ア) 虐待相談について、区役所、ケアマネジャー、関係機関と連携をとり、情報集約・対応方法について個別カンファレンスなどを実施し、対応にあたりました。
- (イ) 他地域包括支援センター、区役所と共催にて、介護事業所向けの虐待予防出前講座を実施しました。
- (ウ) 介護者のつどいを開催し、ケアマネジャー、病院の管理栄養士、介護者へ参加を呼びかけ、介護者支援に努めました。

③ 認知症

- (ア) 認知症サポーター養成講座を実施しました。(出前講座3回、自主事業として2回)地域のキャラバンメイトにも参加してもらいました。
- (イ) 若年認知症の当事者とその家族を講師とした認知症の啓発・多職種連携講座を実施しました。
- (ウ) 認知症の方を介護する介護者の会を実施しました。介護者の集いに、入居施設の施設長や病院の管理栄養士も参加してもらいました。
- (エ) 若年認知症のつどい「笑風の会」を6ケアプラザ、区社協と共催にて、3回開催しました。本人部会では、ボランティアや専門職と一緒に買い出しやレク、調理を楽しみました。家族部会では、歯科医師から嚥下障害や誤嚥性肺炎等の講義を受け、支援の仕方について話し合いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- (ア) 地域住民や民生委員児童委員向けに、みんなの勉強会として、「高次脳機能障害」「リバースモーゲージ」「性的マイノリティ」「高齢者の住まい」について4回開催しました。同時に地域ケア会議や多職種との交流会を開催することで、地域の課題を引き出す支援をしました。
- (イ) 個別レベル地域ケア会議を2回、包括レベル地域ケア会議を2回開催しました。医師、薬剤師、医療関係者、ケアマネジャー、地域住民、民生児童委員、弁護士、警察、郵便局、区役所、社会福祉協議会、サービス事業所でつながりを持つ機会を作りました。

② 医療・介護の連携推進支援

- (ア) 薬剤師、在宅医療連携拠点、ケアマネジャーと、情報・意見交換や事例検討を開催しました。介護保険利用者の服薬管理についての実情や、薬剤師・ケアマネジャーとの連携するタイミング等を共有することができました。薬剤師、医師を個別に訪問し、情報交換を行いました。また、在宅医療連携拠点と共催で、多職種を対象に、研修を開催しました。内容は、前頭側頭型認知症の当事者・家族とともに支える多職種連携の必要性について話し合いました。
- (イ) 医療連携チームの一員として、定期開催の会議に出席して、区域での医療介護の連携・相談内容・現状について情報交換を行いました。また、それらの情報を3職種会議で共有しました。

③ ケアマネジャー支援

- (ア) 包括6ケアプラザ協働で、新任ケアマネジャー向けの研修を開催しました。その中から新任ケアマネジャーが自発的に開催する新任ケアマネ勉強会が立ち上がりました。6包括主任ケアマネジャーが後方支援しました。
- (イ) ケアマネジャーからの相談については、250件以上の相談がありました。ケアマネジャーから要請され、サービス担当者会議に8回参加しました。また、困難事例においては、毎月区役所と定例カンファレンスにて情報共有を行い、他機関（医師、薬剤師、生活支援センター、法律関係者、警察、あんしんセンター、インフォーマルサービス）との連携につなげました。迅速な対応に努めました。
- (ウ) 地域ケア会議にて、地域のケアマネジャーより事例を提出してもらいました。多職種で話し合うことで、課題解決やスキルアップにつながりました。また、ケアマネジャーからの相談を受け、ケアマネジャーが「今さらだからこそ知りたいこと」を題材としたケアマネジャー勉強会「ケアプランの立て方」「インフォーマルサービス」「記録」「管理栄養士との連携」を開催しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- (ア) つながるプラン企画会議や町内会自治会訪問や研修会に参加し、顔の見える関係づくりを進めました。懇談の中で社会資源と地域情報の把握に努め、地域アセスメントに繋がりました。
- (イ) 地域ケア会議、民生委員との交流会に、医師、医療連携機関、医療関係者、サービス事業者、警察、区役所、社会福祉協議会、インフォーマルサービス、地域のケアマネジャーを招き、ケアマネジャーから事例を提出してもらうことで、地域の高齢者の実態や課題の抽出、情報の共有が持てました。
- (ウ) 包括レベル地域ケア会議を開催しました。1回目は郵便局と民生委員で地域の課題と解決について話し合いました。2回目はケアマネジャーより事例を出し、医師、薬剤師、医療関係者、ケアマネジャー、地域住民、民生児童委員、弁護士、警察、郵便局、区役所、社会福祉協議会で繋がりを持つ機会を作り、地域の課題抽出の機会を持ちました。
- (エ) 横浜栄共済病院、協力医の横浜さかえ内科、サブ協力医の田中整形外科医院と連携し健康セミナーを開催しました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- (ア) 介護予防プランナー会議の中で目標立てやアセスメントについて勉強し、要支援者が自立した生活が送れるようなプランを立てるように努めました。
- (イ) 介護予防プランナー会議に生活支援コーディネーターに参加してもらい、インフォーマルサービスの情報共有をし、介護予防プランナーに積極的にプランに取り入れるように周知しました。
- (ウ) 生活支援コーディネーター、介護予防プランナー、当事者が参加した、地域ケ

ア会議を実施し、地域の支援者やサロンと繋がりました。

(エ) 介護予防・日常生活支援総合事業の周知に努めました。プランのチェック、アドバイスを行いました。区役所の保健師職、区内包括支援センターの保健師職と連携し、委託先のケアマネジャー向けの栄養についてのアセスメントについて研修を開催しました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

(ア) 自治会、民生委員と協働し、高齢者サロン、お祭りに出向き、栄養やロコモティブシンドロームについて介護予防に関する講座を開催しました。ヘルスマイト事業の後援を行い、地域向けに「高齢者の栄養」講座を実施しました。

(イ) 地域の整骨院の先生に依頼し、ケアプラザ内で「腰痛予防」「骨盤底筋体操」について講座を開催しました。歯科衛生士の先生にお願いし、「口腔ケアについて」の研修を開催しました。病院の管理栄養士、在宅訪問管理栄養士を招き介護予防栄養講座を開催しました。

(ウ) 市営第2住宅シニアクラブからの依頼で、地域で身近に集える居場所に体操教室が開催できるよう、「コスモスサロン」の立ち上げの支援をしました。

(エ) シニア会、サロンに出向き、転倒予防、ヒートショックについて周知に努めました。

5 その他

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- (ア) 年間計画に沿って、毎月の定期清掃及び日々の清掃を外部専門業者に委託し、来館者が心地よく利用できるよう努めました。年2回、全職員で不用品や書類の整理及び日常清掃で見落としがちな部分の清掃を行い、清潔保持に努めました。「ピカピカ大作戦」と名付け、利用団体の方に参加いただき、清掃や食器・調理器具の漂白・消毒を行い、清潔保持に努めました。
- (イ) 空調設備・消防設備・エレベーター等は、専門業者による定期点検を実施し、お客様にとって快適な施設となるよう努めました。
- (ウ) 毎月定期開催の衛生委員会に於いて、産業医の助言を受けながら、館内、外の環境美化や安全性について検討しました。事務所内のカーペットが経年劣化により捲り上がり、転倒のリスクがあったので全面張り替えました。栄区生活支援センターと協力し共有部分の整備を行い施設維持に努めました。窓口までの誘導ブロックの張り替え、エレベーターの修繕などを行いました。
- (エ) 台風や大風等、自然災害による被害、老朽化による破損や故障が心配されました。日々、小まめな点検や観察を行い、破損・欠損や故障を未然に防ぎ、来館者の安全に配慮し、利用に際し不便をかけないよう努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

- (ア) 法人本部を中心とした管理体制を強化するとともに、財務・事業の厳格なチェック、倫理綱領の徹底、苦情・相談で得られた情報を反映したサービスの品質管理・向上を行い、適正なコンプライアンスに基づいた経営に取り組みました。
- (イ) 建物管理・保守・送迎車両のリース等、委託業者選定に当たっては、電子入札制度を活用し、市内の業者を選定しました。
- (ウ) 法人本部と連携して書類作成、業務手順も統一し、事務の効率化を図りました。

(3) 苦情受付体制について

- (ア) 法人内で定めた「苦情解決規則」に基づき、苦情受付担当者・苦情解決責任者を配置し、お客様からの意見・要望・苦情等に素早く適切に対応しました。また再発防止の為、法人本部、ケアプラザ職員間で情報共有し、改善と予防に努めました。
- (イ) 自分たちの業務の振り返りや改善に役立てるため、来館の方からの忌憚のない意見をいただくための「ご意見箱」を情報ラウンジに設置しました。「トイレ内に荷物を掛けられるようにしてほしい」、「靴の履き替えの時にベンチに座るのが辛い」というご意見を頂きました。対応として、トイレ内に荷物用フックの取り付け、下駄箱付近に立ったまま使用できる靴ペラを設置など行いました。
- (ウ) 公正・中立の立場からの意見・調整を行う第三者委員制度を法人内に設置し、適切な苦情解決に繋がる体制を整備しています。また、法人内のサービス向上委

員会から毎月報告される各部門の苦情等を速やかに全職員に周知し、改善に繋げました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (ア) 日々の日常警備は、警備会社に委託し機械警備を行いました。
- (イ) 法人全体の緊急時連絡体制及び小菅ヶ谷地域ケアプラザ内部の連絡体制を組み、緊急時に役立てました。
- (ウ) 「防災対応マニュアル」「消防計画」を整備しています。また、栄消防署指導の下、栄区生活支援センター・栄区シニアクラブ連合会事務局と協力体制をとり、地域住民にも参加依頼し、年2回の消防避難訓練を実施しました。防災訓練以外にも地域の方と一緒に「災害時図上訓練」を実施しました。
【5-1】
- (エ) 通所介護部門では、デイサービスのお客様に参加していただき、隔月で様々な状況を想定した避難訓練を行い、災害時に備えました。また職員が器具や救出のための道具を使いこなす実習を行い、安全に、安心して避難していただけるように訓練しました。【5-1】
- (オ) 特別避難場所訓練は栄区生活支援センターと協働で年1回行いました。特別避難場所開設と受け入れの流れを考えるための防災会議も隔月開催し、開設準備のための備品準備、役割分担等を行いました。【1-1】【5-1】
- (カ) 緊急時に素早い対応ができる体制作りのため、職員の安否確認を行う「災害時伝言ダイヤル（たよれーる）」訓練と幹部職員による年1回の「徒歩参集訓練」を実施しました。またパート職員も含め全員の安否確認ができるように、職員の緊急連絡先名簿を作成し備えました。
- (キ) 災害時に於いてもスムーズな業務再開に繋がれるよう作成した「BCP（事業継続計画）」の作成と適宜更新を行いました。
- (ク) 小菅ヶ谷第一町内会の防災プロジェクトに参加し、地域の防災への取り組みに協力しました。また地域貢献で開始した小菅ヶ谷第一町内会の安全パトロールは地域住民の参加も得て、週2回行いました。【1-1】【5-1】

(5) 事故防止への取組について

- (ア) 緊急時（事故・急病等）に備えて、定期的に対応マニュアル・連絡網を整備しました。
- (イ) 事業開始前及び終了時には、ミーティングを実施し、業務に必要な情報の共有や注意事項の申し送りを行い、事故防止に役立てました。
- (ウ) 実際に起きた事故事例やヒヤリハットについて、職員全員で振り返り、問題点や改善策を話し合い、再発防止に役立てました。また毎月の衛生委員会で、リスクアセスメントを行い、事故の再発予防と対策について検討し、職員全員に周知しました。
- (エ) 各セクションの会議に於いては、自事業所のみならず法人全体で起きた事故事例を知り、そこから学びかつ危機意識を高め、同様の事故を未然に防ぐよう努め

ました。

- (オ) 実際に起きてしまった事故に関しては、早急に対応が取れるよう、「事故報告（第一報）の連絡経路」「事故発生に係る緊急連絡体制」を整備し、いつなんどき事故が発生しても、誰もが同じ対応が出来る体制をとりました。
- (カ) 車両事故予防のため、乗車前のアルコールチェッカーによる測定、健康状態等の申告を徹底しました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ア) 法人全体で、「個人情報保護規程」「個人情報保護に関する基本方針」を定めており、ケアプラザ内で周知しました。小菅ヶ谷地域ケアプラザでは、個人情報保護管理の担当者及び責任者を配置しています。そのことについて、会議、研修にて職員に再確認しました。
- (イ) ケースファイルや相談票・各種記録等、個人情報に抵触するものは、必ず施錠できるキャビネットに収納しました。パソコンはパスワード等で保護し、盗難防止の鍵付きワイヤーで固定しました。持ち出し可能な磁気媒体（USB等）の使用は一切禁止し、情報漏洩のリスク軽減に努めました。
- (ウ) 個人情報の入った書類の持ち出しは、必要最低限にとどめ、「個人情報及び携帯電話持出確認簿」に記入しダブルチェックをしました。また外出専用バックを使用し、紛失のリスク軽減を図りました。
- (エ) 個人情報漏洩防止のため、郵便物の発送や FAX 送信の際は、複数の者でダブルチェック後、個人情報送信時チェックリストに記入し再確認を行いました。また、FAX に関しては、氏名等のマスキングを徹底しました。
- (オ) 広報紙等に於いて、個人が特定できる写真や記事等を掲載する場合には、書面と口頭で了解を得た上で掲載しました。
- (カ) 所内で「個人情報の取り扱いについて」の研修を年1回及び採用時に実施するほか、法人本部での「個人情報保護・情報セキュリティ研修」を担当職員が受講し、その後、職場に於いて全職員対象へ伝達研修を行い、意識づけと注意喚起を促しました。

(7) 情報公開への取組について

- (ア) 横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、情報開示請求があった場合は、法人内で定められた「情報公開規程」に沿って、個人情報保護に最大限に配慮しつつ対応します。そのことについて、会議などで職員に再確認しました。
- (イ) 広報紙（年4回）の配布・回覧・掲示やケアプラザのホームページ、小菅ヶ谷地域ケアプラザ独自のブログ（小菅ヶ谷ケアプラザ 徒然なるままに・・・）をイベントごとに更新し、今現在の小菅ヶ谷地域ケアプラザの情報提供を行いました。
- (ウ) 福祉医療関係者会議・シニアクラブ・地域サロン等に積極的に赴き、情報提供を行いました。更に、区民祭りや施設祭り（いたちまつり）等、イベント実施の機会を利用して、今までケアプラザを利用されていない方への情報提供を行いました。

(8) 人権啓発への取組について

(ア) 法人本部がテーマを決め、外部講師により開催する「人権研修」に職員を積極的に参加させ、帰所後、伝達研修を行いました。

(イ) 法人の理念の下、倫理綱領において「お客様の人権を大切に」各業務に取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

(ア) ボランティアやデイサービスのお客様の協力を得て、植栽管理を行いました。エントランスの花壇には季節の草花を植え、デイサービスのお客様とは、プランターでの菜園等により緑化の推進に努めました。

また、当ケアプラザの取組として、敷地内の植木の剪定を年3回、草刈を年4回、消毒を年2回、専門業者に依頼して維持に努めました。

(イ) 節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用などの資源の有効利用を励行する等を行うことで、省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持を図りました。ケアプラザ事業の「ちょっぴんカットボランティア」では、使用済み封筒リサイクル、古布のリユースを行い、地域の方へ提供しました。

(ウ) 省エネルギーに努めるため、電力消費がピークとなる夏季に軽装（クールビズ）での執務を、冬季には暖かい服装（ウォームビズ）での執務を心掛けました。服装以外にも、夏季のエアコンの設定温度を 28℃にし（貸室、デイサービス等の部屋は適宜の設定）、冬季は暖房を 20℃に設定しました。また不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど徹底しました。

また、当ケアプラザ屋上のソーラーパネルの太陽光発電を活用することで、省エネ及び緊急時の電力供給を行いました。

(エ) 横浜市「ごみゼロルート回収」のルールに従い、資源ゴミの分別を徹底し、排出するごみの減量化を行いました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
 看護職 1名（常勤兼務・管理者兼務）
 社会福祉士 1名（常勤兼務）
 主任ケアマネジャー 1名（常勤兼務）
 介護予防プランナー 4名（非常勤専任）

《目標》

- (1) 要支援者が、自立した日常生活を継続していくために、一人ひとりの心身の状況や環境を考え、要支援者が目標を持って生活を送れるプランを作成しました。
- (2) 住み慣れた地域で生活が続けられるよう、地域のインフォーマルサービスを利用したプランを作成しました。
- (3) 生活支援コーディネーターと協働し、介護予防プランナーと地域ケア会議を実施し、地域に必要な生活支援サービスやサロンのニーズをアセスメントしました。
- (4) 委託のケアマネジャーと情報交換や総合事業の周知を行いケアマネジメント技術の向上に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

特にありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域のサロン・老人会に積極的に参加し、介護予防の普及啓発を行い、支援しました。
 日常生活支援総合事業の移行が円滑にできるように、地域のニーズを把握し地域関係団体と連携しました。

《目標に対する成果等》

要支援の利用者が事業対象者になり、介護保険によるサービスを終了し、地域のインフォーマルサービス、ボランティア活動につながりました。
 その過程で地域ケア会議を開催し、予防プランナー、民生委員、介護保険事業者、生活支援コーディネーター 地域活動交流に参加してもらい、自立支援につながりました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
224	221	234	232	232	230
10月	11月	12月	1月	2月	3月
247	247	237	250	243	251

※地域包括支援
 予防ケアマネジ
 業・第1号介護

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者	1名	(常勤兼務)
主任介護支援専門員	1名	(常勤専従)
介護支援専門員	3名	(常勤専従)

《目標》

- (1)介護保険サービスをご利用いただき、心身機能の向上を目指すケアプランを作成しました。また、地域の活動に参加する調整のお手伝いを行いました。
- (2)医療機関と密な連携を行い、介護度にかかわらず「自宅で暮らしたい」とのご希望を叶えるケアプランを作成しました。
- (3)介護支援専門員の個別課題を設定しました。介護保険制度の勉強や事例検討会を毎週開催し、地域の皆様に選ばれる事業所を目指しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

特にありません

《目標に対する成果等》

- 昨年度と比べると利用者実績が増えました。
- 自立支援を念頭に置いたケアプランを作成し、地域資源やインフォーマルサービスにつながるにより、社会参加を促すことができました。
- ご本人・ご家族・サービス事業所と話し合いを持つことにより、意欲がアップしリハビリが進み、介護度が軽くなった方もいました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1)地域包括支援センター、行政、関係機関、地域の保健・医療・福祉の各種団体、サービス事業者と連携を図りました。
- (2)特定事業所として、下記の取組を行いました。
 - ・緊急相談対応ができるよう、24時間相談できる体制をとりました。
 - ・介護支援専門員実務者研修実習生3名の受け入れを行いました。
- (3)介護支援専門員の個別課題を念頭に、毎週の介護支援専門員会議で制度の周知、事例検討会を行い、介護支援専門員としての研修を積みました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
164	156	162	170	159	158
10月	11月	12月	1月	2月	3月
155	151	155	151	155	156

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- (1) お一人おひとりの自立した生活を尊重し、入浴、排泄、食事等のサービスを提供しました。
- (2) 今までの生活歴を尊重しつつ各自が生きがいや楽しみを見つけ、且つそれが機能維持・向上に結びつくよう、集団および個別での余暇活動やレクリエーションを行いました。
- (3) サービス実施に当たり、関係機関、ケアマネジャー及び地域の関係者との連携調整を図り、総合的で効率的、効果的なサービスを提供しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●負担分	(1割負担)	(2割負担)
(要介護1)	704円	1,407円
(要介護2)	831円	1,662円
(要介護3)	963円	1,926円
(要介護4)	1,095円	2,189円
(要介護5)	1,227円	2,453円
●入浴加算	54円	108円
●口腔機能向上訓練加算	161円	322円
●サービス提供体制強化加算Ⅰ(イ)	20円	39円
●送迎減算(片道)	-51円	-101円
※送迎を行わなかった場合		
●介護職員処遇改善加算Ⅰ	一ヶ月の利用単位数の1,000分の59に相当する単位数の金額	
●食費負担	700円	
●当日キャンセル料	500円	
●その他レクリエーションにかかる実費等(希望がある場合)		

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:25 ~ 16:30

《職員体制》(1日あたり)

管理者	1名	看護職員	1名
生活相談員	1名	機能訓練指導員	1名
介護職員	7名	送迎運転手	4名
調理員	2名		

《目標》

- (1) チャレンジ精神が生まれるデイサービスを目指しました。
- (2) 一人ひとりの心身の状態を理解した上で、その方にあった機能訓練のメニューを提案し、新しい事にチャレンジする意欲を引出し、帰る時には身も心も軽くなるデイサービスにしました。

《目標に対する成果等》

- ・健康器具の効能を伝え、自ら運動を選んで行う方が増えました。
- ・日記帳を活用することで、心身の活性が出来、デイサービスに来る目標が明確になり、楽しみに思う人が増えました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1) お客様の状況を介護職、看護職、調理員、運転手全員が把握し、その方にあったプログラムを作成しました。
- (2) 音楽、体操、趣味活動を充実し、興味や関心事を増やしました。
- (3) スタッフ育成システムを作り、介護職の専門性を高めました。
- (4) 万歩計を付け、日記帳に記録する事で効果を見える化し、活動の意欲を引き出す支援をしました。
- (5) 地域に開かれたデイサービスを目指し、夏休み中のインターンシップ受け入れ等で小・中及び高校生との交流を行いました。
- (6) 介護や医療の専門職が共同し、専門的な知識に基づいて、お客様の生活機能の維持・改善のために必要な支援を行いました。
- (7) 見学を随時受け付けました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
566	560	602	617	625	639
10月	11月	12月	1月	2月	3月
601	589	589	500	560	656

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- (1) できる限り要介護状態に進むことを予防し、自立した在宅生活の継続を目指して、運動機能及び口腔機能等の維持向上を目指しました。
- (2) 集団及び個別の趣味活動や健康体操を行い、デイサービスでの時間が、機能維持向上につながるよう支援しました。
- (3) サービス実施に当たり、関係機関、ケアマネジャー及び地域の関係者との連携調整を図り、総合的で効率的、効果的なサービスを提供しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●負担分	(1割負担分)	(2割負担分)
(要支援1)	1,766円	3,531円
(要支援2) 週1回利用	1,766円	3,531円
●サービス提供体制強化加算Ⅰ(イ)	78円	155円
(要支援2) 週2回利用	3,621円	7,241円
●サービス提供体制強化加算Ⅰ(イ)	155円	309円
(要支援1、要支援2)		
●運動機能訓練加算	242円	483円
●口腔機能向上訓練加算	161円	322円
●介護職員処遇改善加算Ⅰ		
一ヶ月の利用単位数の1,000分の59に相当する単位数の料金		
●食費負担	700円	
●当日キャンセル料	500円	
●その他レクリエーションにかかる実費等(希望がある場合)		

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 10:00 ~ 16:00

《職員体制》(1日あたり)

管理者	1名	看護職員	1名
生活相談員	1名	機能訓練指導員	1名
介護職員	7名	送迎運転手	4名
調理員	2名		

《目標》

- (1) チャレンジ精神が生まれるデイサービスを目指しました。
- (2) 一人ひとりの心身の状態を理解したうえで、生活機能に資する運動器の機能向上のための訓練プログラムを提案し、新しい事にチャレンジする意欲を引出し、帰る時には身も心も軽くなるデイサービスにしました。

《目標に対する成果等》

- ・日常生活の質の向上の為、「改善したい生活の目標」を一緒に話し合い、運動のプログラムを提案し、要介護から要支援に変更になり、更なる目標を持つようになりました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (1) お客様の状況を介護職、看護職、調理員、運転手全員が把握し、その方にあったプログラムを作成しました。
- (2) 音楽、体操、趣味活動を充実し、興味や関心事を増やしました。
- (3) スタッフ育成システムを作り、介護職の専門性を高めました。
- (4) 万歩計を付け、日記帳に記録する事で効果を見える化し、活動の意欲を引き出す支援をしました。
- (5) 地域に開かれたデイサービスを目指し、夏休み中のインターンシップ受け入れ等で小・中及び高校生との交流を行いました。
- (6) 介護や医療の専門職が共同し、専門的な知識に基づいて、お客様の生活機能の維持・改善のために必要な支援を行いました。
- (7) 運動器の機能訓練を実施して三ヶ月に一度効果測定を行い、自身の健康管理や身体機能の向上に関心を持てるようにアドバイスを行いました。
- (8) 見学を随時受け付けました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
21	21	23	23	23	26
10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	26	26	25	25	25

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- (1) 一人ひとりの症状に合わせて個別対応を行いました。
- (2) 社会参加の機会を持ちました。
- (3) 認知症の理解を深めるために、啓発活動を行いました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

●負担分	(1割負担分)	(2割負担分)
(要介護1)	1,072円	2,144円
(要介護2)	1,188円	2,376円
(要介護3)	1,305円	2,609円
(要介護4)	1,422円	2,844円
(要介護5)	1,593円	3,077円
●入浴	55円	109円
●個別機能訓練	30円	59円
●送迎減算（片道）	-52円	-103円
※送迎を行わなかった場合		
●介護職員処遇改善加算I	一ヶ月の利用単位数の1,000分の104に相当する単位数の料金	
●食費負担	700円	
●当日キャンセル料	500円	
●その他レクリエーションにかかる実費等（希望がある場合）		

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:25 ~ 16:30

《職員体制》（1日あたり）

管理者	1名	看護職員	1名
生活相談員	1名	機能訓練指導員	1名
介護職員	3名	調理員	2名
送迎運転士	4名		

《目標》

- (1) 一人ひとり心身の状況をすべての職種のスタッフが理解し把握できるよう、常に連携を取っていきました。
- (2) ご家族の支援も視野に入れ、医療、ケアマネジャーとも連携を取り、チームで支援が出来るようにしました。
- (3) 認知症という病気の理解を深めるために、啓発活動を行いました。
- (4) 認知症になっても、可能性があることを信じてあきらめることなく支援しました。

《目標に対する成果等》

- ・地域に認知症の対応などを講演しに出向き、認知症の理解を深める活動を行いました。
- ・症状の変化に伴うご家族の変化を察知し、ケアマネジャーや包括支援センターと連携を取りました。
- ・街頭募金に加え、ケアプラザ祭りにお客様と一緒に出店し、地域の方と交流する

機会を持ちました。

- ・ 家族会などを通じ、本人だけでなく、家族の横のつながりを繋げました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- （１）個々の理解力に合わせて、達成可能な活動プログラムを提供しました。
- （２）役割が持てるように、机上の作業だけでなく、ケアプラザ内の他職員と連携し、事務室にコーヒーを淹れて届けたり、館内の掃除の手伝いをしました。
- （３）横浜市総合リハビリテーションセンター作業療法士とともに、デイ活動での効果的な支援内容を明確にします。また支援内容をプログラム化しスタッフ全員で実施できるようにしました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
288	280	288	269	282	278
10月	11月	12月	1月	2月	3月
294	285	273	229	251	284

平成29年度「小菅ヶ谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	14,265,068	676,592	14,941,660	14,941,660	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	128,770	△ 128,770	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	214,408	△ 214,408	
印刷代	0		0	7,700	△ 7,700	
自動販売機手数料	0		0	197,496	△ 197,496	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	9,212	△ 9,212	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,023,385		2,023,385	2,023,385	0	
収入合計	19,875,953	676,592	20,552,545	20,895,723	△ 343,178	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,814,897	0	10,814,897	11,158,320	△ 343,423	
本俸	7,225,380		7,225,380	7,620,238	△ 394,858	
社会保険料	962,284		962,284	1,002,642	△ 40,358	
手当計	2,397,055		2,397,055	2,260,459	136,596	
健康診断費	55,584		55,584	94,287	△ 38,703	
勤労者福祉共済掛金	688		688	0	688	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	173,218		173,218	172,438	780	
その他	688		688	8,256	△ 7,568	
事務費	1,070,000	0	1,070,000	1,561,951	△ 491,951	
旅費	4,821		4,821	4,755	66	
消耗品費	114,712		114,712	206,395	△ 91,683	
会議随時費	0		0	0	0	
印刷製本費	221,344		221,344	314,156	△ 92,812	
通信費	189,537		189,537	197,651	△ 8,114	
使用料及び賃借料	0	0	0	33,858	△ 33,858	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	33,858	△ 33,858	
備品購入費	0		0	94,608	△ 94,608	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	10,512		10,512	10,512	0	
職員等研修費	6,182		6,182	2,260	3,922	
振込手数料	0		0	19,949	△ 19,949	
リース料	258,427		258,427	72,249	186,178	
手数料	15,760		15,760	0	15,760	
地域協力費	55,000		55,000	103,520	△ 48,520	
その他	193,705		193,705	502,038	△ 308,333	
事業費	1,946,000	0	1,946,000	458,897	1,487,103	
運営協議会経費	42,000		42,000	14,374	27,626	予算-指定額
指定管理料充当 事業	1,904,000		1,904,000	444,523	1,459,477	
管理費	4,108,798	676,592	4,785,390	3,713,179	1,602,518	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	50,480	0	50,480	530,307	50,480	
電気料金	50,480		50,480	50,480	0	
ガス料金	0		0	0	0	内訳が一致していません
水道料金	0		0	0	0	
清掃費	1,128,839		1,128,839	1,128,839	0	
修繕費	474,000	676,592	1,150,592	1,157,019	△ 6,427	予算-指定額
機械整備費	124,618		124,618	124,618	0	
設備保全費	603,289	0	603,289	603,289	0	
空調衛生設備保守	263,330		263,330	263,330	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	71,544		71,544	71,544	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	268,415		268,415	268,415	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	1,727,572		1,727,572	169,107	1,558,465	
公租公課	958,834	0	958,834	892,665	66,169	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	958,834		958,834	892,665	66,169	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一三対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	18,898,529	676,592	19,575,121	17,785,012	2,320,416	
差引	977,424	0	977,424	3,110,711	△ 2,663,594	

自主事業費収入	1,904,000		1,904,000	0	1,904,000	予算-指定管理料を含む
自主事業費支出	1,904,000		1,904,000	444,523	1,459,477	
自主事業収支	0	0	0	△ 444,523	444,523	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	197,496	△ 197,496	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	197,496	△ 197,496	

**平成29年度「小菅ヶ谷地域ケアプラザ(施設名)」
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,246,000	△ 357,000	22,889,000	22,889,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	△ 1,221,635	4,567,365	4,567,365	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	21,240	△ 21,240	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	26,340	△ 26,340	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	72,000	△ 72,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	72,000	△ 72,000	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,725,173		1,725,173	1,725,173	0	
収入合計	30,911,173	△ 1,578,635	29,332,538	29,452,118	△ 119,580	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,600,127	0	25,600,127	27,918,870	△ 2,318,743	
本俸	14,400,060		14,400,060	14,961,576	△ 561,516	
社会保険料	3,413,971		3,413,971	3,787,469	△ 373,498	
手当計	7,170,920		7,170,920	8,467,361	△ 1,296,441	
健康診断費	51,267		51,267	89,145	△ 37,878	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	452,596		452,596	584,063	△ 131,467	
その他	111,313		111,313	29,256	82,057	
事務費	366,000	0	366,000	1,032,304	△ 666,304	
旅費	56,202		56,202	20,340	35,862	
消耗品費	94,099		94,099	73,574	20,525	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	114,874		114,874	87,325	27,549	
通信費	100,825		100,825	195,814	△ 94,989	
使用料及び賃借料	0	0	0	30,615	△ 30,615	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	30,615	△ 30,615	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	10,512	△ 10,512	
職員等研修費	0		0	17,397	△ 17,397	
振込手数料	0		0	22,920	△ 22,920	
リース料	0		0	72,249	△ 72,249	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	33,320	△ 33,320	
その他	0		0	468,238	△ 468,238	
事業費	2,028,000	0	2,028,000	684,478	1,343,522	
協力医	630,000		630,000	273,000	357,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	938,000		938,000	117,147	820,853	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	155,460	△ 4,460	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	138,871	170,129	予算:指定額
管理費	1,007,754	0	1,007,754	805,482	343,239	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	421,318	0	421,318	140,967	421,318	
電気料金	421,318		421,318		421,318	
ガス料金						内訳が一致していません
水道料金						
清掃費	300,070		300,070	300,070	0	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費			0	33,126	△ 33,126	
設備保全費	160,366	0	160,366	160,366	0	
空調衛生設備保守	69,998		69,998	69,998	0	
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	19,018		19,018	19,018	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	71,350		71,350	71,350	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	44,953	△ 44,953	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	29,001,881	0	29,001,881	30,441,134	△ 1,298,286	
差引	1,909,292	△ 1,578,635	330,657	△ 989,016	1,178,706	

自主事業収入	1,398,000			47,580		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,398,000			411,478		
自主事業収支	0			△ 363,898		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:小菅ヶ谷地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	認知症対応型 通所介護
		収入	介護保険収入	13581	27612
その他	1555		685	531	0
介護予防ケアマネジメント費					
事業・負担金収入					
原案作成委託料	1555				
その他			685	531	
収入合計(A)	15136		28297	82878	50189
支出	人件費		5355	27888	66833
	事務費	7739	1209	7294	2759
	事業費	198	212	8395	2785
	管理費	0		6176	2390
	その他	0	0	226	11908
	利用者負担軽減額				
	消費税				
	介護予防プラン委託料				
	その他			226	11908
支出合計(B)	13292	29309	88924	44975	
収支 (A) - (B)	1844	-1012	-6046	5214	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **小菅ヶ谷地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ベニーリトミック 「たんぼぼクラブ」	乳幼児・保護者	78048	地活	40448	37600		61248		16800
	94組(197人)		包括	0					
	400円		生活	0					
キッズリトミック 「たんぼぼクラブデラックス」	乳幼児・保護者	78048	地活	50048	28000		61248		16800
	70組(145人)		包括	0					
	400円		生活	0					
うたっちゃん	中途障害者	29113	地活	313	28800			16233	12880
	119人		包括	0					
	300円		生活	0					
母の日にフラワーアレンジメントを贈ろう	子ども	6014	地活	4414	1600			5454	560
	8人		包括	0					
	200円		生活	0					
父の日に向けてクッキーを作ろう	子ども	7078	地活	5678	1400			5958	1120
	28人		包括	0					
	50円		生活	0					
ガイドボランティア養成講座	地域住民	0	地活	0					
	5人		包括	0					
	なし		生活	0					
漢字王決定戦	子ども	12270	地活	11270	1000			10590	1680
	20人		包括	0					
	50円		生活	0					
ピカピカ大作戦	貸室利用者	5406	地活	5406				4006	1400
	16人		包括	0					
	なし		生活	0					
子育てサポートシステム出張相談会	乳幼児・保護者	560	地活	560					560
	7人		包括	0					
	なし		生活	0					
子どもアートキャラバン	子ども	1400	地活	1400					1400
	50人		包括	0					
	なし		生活	0					
いちごまつり2018	地域住民	111464	地活	111464				65568	45896
	400人		包括	0					
	なし		生活	0					
わくわく子育て講座 押田先生と遊ぼう～わらべうたと絵本の話～	乳幼児・保護者	1120	地活	1120					1120
	24人		包括	0					
	なし		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
いっしょに遊ぼう	乳幼児・保護者	3360	地活	3360					3360
	74人		包括	0					
	なし		生活	0					
パパと一緒に遊ぼう	乳幼児・保護者	1488	地活	1488					648
	34人		包括	0					840
	なし		生活	0					
つまみ細工	地域住民	5520	地活	5520					4400
	26人		包括	0					1120
	200円		生活	0					
つくってたべよう どうぶつパンケーキ	子ども	5304	地活	4454	850				4464
	17人		包括	0					840
	50円		生活	0					
のこのこ中野	障がい児	0	地活	0					
	8人		包括	0					
	なし		生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名

小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
サードエイジラボ	地域住民	5557	地活	0	3417			5277	280
	36人		包括	0					
	500円		生活	2140					
書初めの会	地域住民	0	地活	0					
	8人		包括	0					
	なし		生活	0					
庭木の剪定講座	地域住民	0	地活	0					
	13人		包括	0					
	なし		生活	0					
聴かないと！ ジャズナイト	地域住民	17638	地活	0	2400			17078	560
	8人		包括	0					
	300円		生活	15238					
手しごとクラブ 包丁研ぎの会	地域住民	1222	地活	0	700			662	560
	7人		包括	0					
	100円		生活	522					
手しごとクラブ 布切り絵の会	地域住民	2504	地活	0				1944	560
	10人		包括	0					
	200円		生活	2504					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
		0	地活	0					
			包括	0					
			生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者のつどい	介護者	2658	地活	0					
	39人		包括	2658				2658	
	なし		生活	0					
介護技術講座	地域住民	0	地活	0					
	9人		包括	0					
	なし		生活	0					
みんなの勉強会	地域住民・専門職	13364	地活	0					
	92人		包括	13364			13364		
	なし		生活	0					
出張相談会	地域住民	0	地活	0					
	60人		包括	0					
	なし		生活	0					
障がい児者のための「成年後見講座&無料相談会」	障がい者・家族	0	地活	0					
	15人		包括	0					
	なし		生活	0					
健康セミナー	地域住民	0	地活	0					
	102人		包括	0					
	なし		生活	0					
知って納得 相続遺言講座&無料相談会	地域住民	0	地活	0					
	12人		包括	0					
	なし		生活	0					
権利擁護相談会	地域住民	3341	地活	0					
	2人		包括	3341			3341		
	なし		生活	0					
医療連携会議	専門職	8771	地活	0					
	22人		包括	0			8771		
	なし		生活	0					
多職種勉強会	専門職	0	地活	0					
	37人		包括	0					
	なし		生活	0					
民生委員とケアマネジャーとの交流会	民生委員・CM	0	地活	0					
	52人		包括	0					
	なし		生活	0					
ケアマネジャー勉強会	ケアマネジャー	0	地活	0					
	104人		包括	0					
	なし		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
虐待予防出前講座	専門職	0	地活	0					
	67人		包括	0					
	なし		生活	0					
地域ケア会議	地域住民・専門職	5546	地活	0					
			包括	5546			5546		
	なし		生活	0					
介護予防普及強化啓発事業	高齢者	0	地活	0					
	98人		包括	0					
	なし		生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **小菅ヶ谷地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ほっかほかタイム	高齢者	79484	地活	8930	17600			23170	3360
	219人		包括	9077	17400			23117	3360
	200円/回		生活	8877	17600			23117	3360
らよっきんカットボランティア	高齢者	13656	地活	4552				72	4480
	221人		包括	4552				72	4480
	なし		生活	4552				72	4480
ルーテル保育園 ほほえみサロン	高齢者	4004	地活	1340				1340	
	57人		包括	1332				1332	
	なし		生活	1332				1332	
出前講座	地域住民	0	地活	0					
	186人		包括	0					
	なし		生活	0					
華シニア連続講座	地域住民	6128	地活	3064				2784	280
	89人		包括	0					
	なし		生活	3064				2784	280
健康ウォーク	高齢者	89096	地活	0					
	192人		包括	40800	3750		44550		
	300円/10回		生活	40796	3750		44546		
ミシンボランティア	地域住民	16091	地活	8046				8046	
	112人		包括	0					
	なし		生活	8045				8045	
植栽ボランティア	地域住民	26203	地活	14474				14474	
	68人		包括	0					
	なし		生活	11729				11729	
コスモスサロン支援事業	高齢者	0	地活	0					
	105人		包括	0					
	なし		生活	0					
認知症サポーター 養成講座	地域住民	0	地活	0					
	59人		包括	0					
	なし		生活	0					
ボランティア講座	地域住民	0	地活	0					
	27人		包括	0					
	なし		生活	0					
お手伝いボランティア講座	地域住民	7841	地活	5141	2700		3341	3380	1120
	16人		包括	0					
	100円、300円		生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ボランティア 感謝会&交流会	ボランティア	27033	地活	13517				13517	
	22人		包括	0					
	なし		生活	13516				13516	
ベルジュ	地域住民	1483	地活	741				741	
	30人		包括	0					
	なし		生活	742				742	
若年認知症栄区のつど い「笑風の会」	認知症の方とその家族	21350	地活	16550	4800			19950	1400
	16人		包括	0					
	300		生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					
			地活	0					
			包括	0					
			生活	0					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ベビーリトミック「たんぽぽクラブ」	【目的】 ① 1歳半未満の乳児の親子交流の場の提供 ② 同世代同士の交流の場の提供 【内容】 概ね1歳半未満の幼児を対象とした、リトミック、手遊び、工作、等行いました。	毎月第4月曜日 11回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズリトミック「たんぽぽくらぶデラックス」	【目的】 ① 1歳半以上の乳幼児の親子交流の場 ② 同世代親子の交流の場 【内容】 概ね1歳半以上の幼児を対象とした、リトミック、手遊び、工作、等行いました。	毎月第4月曜日 11回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたっちゃお（中途障がい者サロン）	【目的】 ① 中途障がい者の居場所づくり・交流の場の提供 ② 関係機関との連携 【内容】 サポートセンター等との共催事業 外出・昼食づくりなど（参加者が企画）	毎月第1・3木曜日 23回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
母の日にフラワーアレンジメントを贈ろう	【目的】 小学生がCPに足を運んでもらうきっかけ作り。 【内容】 地域のボランティアによる、フラワーアレンジメント講座	6月 1回／年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
シニアポイント登録研修会in小菅ヶ谷地域ケアプラザ	【目的】 ①シニアポイント事業を栄区に広める為、区内6ケアプラザで順次開催します。 ②新しいボランティアの発掘を図ります。 【内容】 ・シニアポイント登録研修会を開きました。 ・シニアポイント制度説明を行いました。 ・ボランティアの説明等行いました。	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年認知症栄区のとどい「笑風の会」	【目的】 ①若年性認知症の人とその家族の居場所づくり 【内容】 区内6か所の地域ケアプラザ共催、区役所・区社会福祉協議会の協働により実施 本人の活動の場と家族の話し合いの場の2本立てで実施	6、11、2月 3回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
漢字王決定戦@小菅ヶ谷地域ケアプラザ～	【目的】 多世代が一緒に楽しみながら漢字に触れる事により、興味を持ってもらえるよう開催します。 【内容】 子どもと大人がペアになり、漢字クイズやビンゴゲームで競い合いました。	7、3月 2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピカピカ大作戦	【目的】 ①貸室登録団体の交流の場 ②貸室の利用マナーの周知 【内容】 ①貸室の清掃 ②利用方法・マナーの周知	7月 1回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサポートシステム出張相談会	<p>【目的】 子育て世代支援</p> <p>【内容】 にこりんくで定期開催している子育てサポートシステムの出張相談会。</p>	10月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コドモアートキャラバン in 小菅ヶ谷地域ケアプラザ	<p>【目的】 リリース共催 出張型造形ワークショップ アートに触れる体験を通して、こどもたちの心に豊かな何かを残せるように開催します。</p> <p>【内容】 染物作り 親子参加の出張型造形美術ワークショップ</p>	12月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いたちまつり 2017	<p>【目的】 小菅ヶ谷地域ケアプラザと併設の栄区生活支援センターを地域に知って頂く機会として実施。</p> <p>【内容】 地域団体による模擬店、保健活動推進員による健康チェック、フリーマーケット、紙芝居、本郷台小学校のコーラス、登録団体による作品展示、栄警察による防犯講座など</p>	10月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わくわく子育て講座 押田先生と遊ぼう～わらべうたと絵本の話～	<p>【目的】 ①子育て支援 ②関係機関との連携</p> <p>【内容】 講師による絵本の読み聞かせ方、選び方についての講話とわらべうたとふれあい遊びの紹介</p>	12月 年1回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いっしょにあそびましょう！！ (公田保育園共催)	【目的】 保育園の入園前に、園児や先生と遊ぶ事で保護者と乳児が、事前に体験できる事で、入園準備のキッカケになるよう開催します。 【内容】 絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、パラバルーン遊びなどを行い、2回目は園児との遊びを中心に行いました。	1、2月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと一緒に遊ぼう！	【目的】 父親の育児参加支援のため。また、父親同士の知り合うきっかけ作り。 【内容】 手形アートづくりと父親同士の情報交換・悩み相談など	12月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つまみ細工	【目的】 ケアプラザ周知と共に新たなボランティア発掘のため。 【内容】 ボランティアによるつまみ細工の製作	2、3月 2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つくってたべよう どうぶつパンケーキ	【目的】 小学生を対象にした、CPに足を運んでもらうきっかけ作り。 【内容】 ボランティアによるパンケーキ作り	3月 1回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
スマホ&タブレット初心者相談会	<p>【目的】 買ったけど使い方が分からない、このやり方が知りたいというお悩みを解決するための相談会です。主に、初心者を対象に開催します。</p> <p>【内容】 スマートフォンやタブレットで困っていることを個別に相談を受け、アドバイスしました。</p>	7、3月 2回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ガイドボランティア養成講座	<p>【目的】 ガイドボランティア養成講座 移動情報センターの役割の周知と新たなガイドボランティアの発掘、育成。</p> <p>【内容】 栄区内の状況、移動情報センターとガイドボランティアについて説明</p>	1月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
のこにこ中野	<p>【目的】 障害のある子どもたちが身近な地域で余暇を楽しめるように支援する。</p> <p>【内容】 栄区内3地域ケアプラザ共催（中野地域ケアプラザ、野七里地域ケアプラザ、小菅ヶ谷地域ケアプラザ） 今回は、中野地域ケアプラザが会場となり実施。親子参加型のパン作り教室と職場見学など</p>	3月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サードエイジラボ	<p>【目的】 生き生きと活動するシニアに向け、地域活動へのきっかけづくりをする。趣味的な活動からボランティア活動へとつなげる。既存のボランティアグループと交流するきっかけをつくり、見学や参加、加入へとつなげる。</p> <p>【内容】 第1回は「マジック講座」、第2回は「コンテナガーデニング講座」、第3回は「コーヒーの淹れ方講座」を実施しました。</p>	3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書き初め会	<p>【目的】 地域住民をボランティア活動に誘い、地域ケアプラザの機能を知ってもらう。地域住民を巻き込んで、いきいきとボランティア活動できる場を提供する。参加者同士で関係を築けるよう支援し、活動の輪の拡大を図る。</p> <p>【内容】 幼児から高齢者までを対象とし、書初めをはじめ墨と筆で表現することを楽しむ場を提供しました。</p>	1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
庭木の剪定講座	<p>【目的】 せん定講座を開催し、参加した地域住民をボランティア活動に誘う。 ボランティア活動について学んでいただく機会を持つ。 講座参加者の間で関係を築き、行動の輪の拡大を図る。</p> <p>【内容】 座学の後、全員で剪定の実習をし、趣味を通じて参加者同士がつながる機会を得ました。</p>	1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
聴かないとジャズナイト	<p>【目的】 地域ケアプラザにつながりにくい地域住民が集える場を提供する。地域住民に地域ケアプラザの機能と活動を知ってもらい、ボランティア活動に繋げる。参加者同士で関係が築けるよう支援し、活動の輪の拡大を図る。</p> <p>【内容】 ジャズに特化したレコード鑑賞。真空管アンプ仕様でメカに興味のある方にも楽しんでいただいた。セルフミル〜セルフドリップによるコーヒーとこだわりチョコレートでおしゃべりがはずみました。</p>	1回／年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手しごとクラブ 包丁研ぎの会	<p>【目的】 講座に参加した地域住民をボランティア活動に誘い、いきいきと活動できるように支援する。段階的にボランティア活動の意義理解を深める。参加者同士の関係を築き、他団体との交流を進める。</p> <p>【内容】 地域住民を講師に迎え、少人数で包丁研ぎを習いながら交流を進めました。</p>	1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手しごとクラブ 布切り絵の会	<p>【目的】 講座に参加した地域住民をボランティア活動に誘い、いきいきと活動できるように支援する。段階的にボランティア活動の意義理解を深める。参加者同士の関係を築き、他団体との交流を進める。</p> <p>【内容】 地域住民を講師に迎え、サブ講師にも協力を頂く。少人数で布切り絵を習いながら、おしゃべりを楽しみ、交流を進めました。</p>	1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハマレジいきいき 体操支援	<p>【目的】 介護予防の会を集合住宅内で展開する</p> <p>【内容】 サロンとしての自立に向け、プログラム内容や参加者同士のつながりを促進する茶話会の提案などで支援しました。</p>	21回／年 第1、第3水曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若葉会体操クラブ 支援	<p>【目的】 介護予防の会をシニアクラブを中心とした会で展開する</p> <p>【内容】 体操サロンとしての自立に向け、プログラム内容や進め方について支援しました。</p>	34回／年 毎週火曜日

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	目的：介護者の負担軽減 内容：茶話会	奇数月第2土曜日 6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護技術講座	目的：ケアプラザの周知・地域住民への啓発 内容：車いす介助と操作の座学と演習	1回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなの勉強会	目的：包括支援センターの周知・権利擁護啓発・住民や専門職への勉強会 内容：さまざまなテーマでの勉強会（高次脳機能障害・リバースモーゲージ・性的マイノリティ・高齢者の住まい）	4回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	目的：地域包括支援センターの周知・介護予防 内容：出張にて相談会の開催（薬局・地域のまつり・集会所）	随時 4回／年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児者のための「成年後見講座&無料相談会」	目的：権利擁護啓発 内容：成年後見講座&無料相談会（桂台CPと期間相談支援センターとの共催）	11月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康セミナー	目的：健康増進・介護予防 内容：栄共済病院・協力医による医療セミナー（勉強会）	5回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
知って納得 相続遺言講座&無料相談会	目的：権利擁護啓発 内容：出張での相続遺言講座と相談会	2月 1回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護相談会	目的：権利擁護啓発 内容：行政書士による無料相談会（6地域包括支援センター共催）	1月 1回/年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
医療連携会議	目的：介護と医療の連携・ケアマネジャーのスキルアップ 内容：ケアマネジャー・薬剤師・在宅医療相談室と、困難ケースに対する事例検討や情報交換会	2回（5月、11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多職種勉強会	目的：認知症理解・多職種連携 内容：若年認知症の当事者と家族の講演と検討（栄区医療相談室との共催）	1回（9月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャー勉強会	目的：ケアマネジャーの活動支援・医療機関や地域支援者との連携支援 内容：ケアマネジャースキルアップ研修（ケアプランの立て方について・生活支援コーディネーターとの連携について・記録の書き方について・管理栄養士との連携について）	4回（6月、12月、2月、3月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネジャーの交流会	目的：民生委員とCMとの顔の見える関係づくり 内容：それぞれの役割紹介・インフォーマルサービス紹介（社会福祉協議会/シルバー人材派遣/生活支援コーディネーターの役割について）・グループワーク（事例検討）	2回（1月、2月）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
虐待予防出前講座	目的：虐待予防・早期発見・菅家機関との連携 内容：介護保険事業へ出前講座の実施（区内社会福祉士分科会共催）	随時 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及強化啓発事業	【目的】 介護予防・認知症予防の推進 仲間作り 【内容】 ・腰痛予防講座（5月）・骨盤底筋体操（6月） ・いつもの食事にプラス！（9月）・ハマトレ体操（10月） ・転ばないための体作り（10月） ・やってみよう！口腔ケア（1月）	6回

5g

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	【目的】 地域支援ネットワークの構築・地域課題の発見/把握・地域づくり資源開発の検討 【内容】 ①個別レベル地域ケア会議 「認知症の姉妹が安心して生活するために」「住み慣れた場所で自分らしく生活するためには」 ②包括レベル地域ケア会議 「認知症の方を地域で支えるために」「高齢になっても住みやすい町とは」	個別レベル：2回 （6月、7月） 包括レベル2回 （7月、11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新任ケアマネジャー研修	【目的】 栄区で活動する新任（就労3年未満）及び就労予定ケアマネジャーに向けて、ケアマネジャー支援業務の一環として研修を企画実施 【内容】 （栄区包括支援センター主任ケアマネジャー協働） 「医療連携について」「居宅主任ケアマネジャーによるアセスメント、ケアプラン、モニタリング、各種制度の利用手続きについて」「看護小規模多機能型見学会」 新任ケアマネジャー主催/栄区地域包括支援センター後援による「薬局薬剤師とケアマネジャーの連携」	主催/3回（7月、8月、11月） 後援1回（3月）

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほっかほかタイム	目的：高齢者の閉じこもり防止・介護予防・交流の場 内容：ボランティアを中心とした調理と会食	毎月第1金曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょっぴんカットボランティア	目的：閉じこもり防止・介護予防・生きがい支援・ボランティア育成 内容：エコ封筒作成・お誕生日カード作成・ウエス作成などの軽作業	毎月第2・3金曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ルーテル保育園 ほほえみサロン	目的：閉じこもり防止・介護予防・交流の場・ボランティア支援 内容：ルーテル保育園での出張サロン・茶話会など	毎月第4木曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	目的：ケアプラザの周知・介護予防・認知症予防 内容：町内会やシニアクラブなどに出向いての講座・体操・レクリエーションなど	随時 9回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
華シニア連続講座	【目的】 ①地域シニアの生きがいつくり ②介護予防 ③ボランティア支援 【内容】 華シニアボランティアと企画立案する 「設文解字をひもとく」「地域散策」「栄区の埋蔵文化財」「シニアの片付け」「シニアの防犯」	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康ウォーク	目的： ①介護予防・身体機能維持 ②閉じこもり防止 ③交流の場の提供 内容： ①姿勢よく健康的に歩く方法の実践 ②介護予防体操(ハマトレ・コグニサイズ等)	5月～7月 10回/年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミシン ボランティア	【目的】 ①介護予防・健康維持 ②やりがい・役割を持って地域とつながる ③居場所づくり・交流の場の提供 ④ボランティア育成 【内容】 ①ケアプラザ内の椅子カバー、カーテン作りなど ②デイサービス、ケアマネージャーを介した裁縫依頼	毎月第1・3火曜日 年24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
植栽 ボランティア	【目的】 ①健康維持・介護予防 ②やりがい・役割を持って地域とつながる ③交流の場の提供 ④ボランティア育成 【内容】 ①ケアプラザ内の植栽(植え付け・メンテナンス) ②除草 ③水やり	冬期：毎月第2・4火曜日 夏期：毎週火曜日 年29回

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
コスモスサロン 支援事業	【目的】 介護予防の会を集合住宅内で展開する 【内容】 仕掛けとして介護予防体操講座の開催、以後、サロンとしての自立を支援しました。	9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	目的：認知症理解啓発 内容：養成講座の実施（自主事業と出張講座にて）	随時 4回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア講座	【目的】 地域住民をボランティア活動に誘い、いきいきと活動できるように支援する。継続的かつ段階的にボランティア活動について学ぶことにより、活動の質を高める。連続講座で関係性を築き、ネットワーク化して活動の輪の拡大を図る。 【内容】 ボランティアの心得や認知症サポーター養成講座など全5回の連続講座	12、1月 5回／年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お手伝いボランティア講座	【目的】 趣味活動の支援のためのボランティア育成。 【内容】 スタンドグラス作りやふくろう製作	12月 2回／年

平成29年度 自主事業報告書

横浜市小菅ヶ谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会&感謝会	【目的】 ボランティアの方々への感謝会と交流会 【内容】 ①各団体・個人のボランティア活動紹介 ②ボランティア・ミニ講座	2月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベルジュ交流会	【目的】 集合住宅に住む高齢者が安心して日々の生活を送れるよう、近所づきあいのきっかけとなる場を提供する。近隣ボランティアの発掘を図る。高齢者とファミリー層住民の交流を図る。 【内容】 多世代交流をねらったかき氷の会、折り紙や歌を交えた茶話会など	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数